

令和7年度 減災対策協議会取組事例の紹介

利根川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

(1) 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組		取組市町
1	・沿川市町: 想定最大規模降雨における洪水を対象に避難指示等の発令基準の見直しについて検討し、情報共有を図る。	八千代市(P1)
2	・沿川市町以外: 洪水浸水想定区域に基づく避難の発令対象区間を設定、また、必要に応じて避難の発令基準の修正を行う。	八千代市(P2)
3	・沿川市町: 基準水位の見直しや災害対策基本法の一部改正に伴うタイムラインの見直しを行う。	
4	・沿川市町以外: 災害対策基本法の一部改正に着目したタイムラインの作成を行う。	
5	・広域避難計画策定の推進を図る。	
6	・広域避難訓練を実施し、住民への周知を図る。	利根町(P3)
7	・想定最大外力を反映した洪水HMの策定を実施する。(水防法第15条の11)	龍ヶ崎市(P4) 、 稲敷市(P5) 、 柏市(P6) 、 八千代市(P7)
8	・想定最大外力を反映した洪水HMの配布及び内容の説明等により周知する。(水防法第15条の11)	利根町(P8) 八千代市(P9)
9	・円滑な避難行動を実施するため、市町、自治会、自主防災組織、住民の取るべき行動について、段階的な訓練を実施する。	河内町(P10)
10	・スマホ等を活用した情報発信及び、情報発信ツールを活用した避難訓練を実施する。	
11	・水防災意識社会に関する資料等の作成による広報を推進する。	
12	・水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置を行う。	
13	・水防災に関する説明会や、住民の方々を対象としたシンポジウム等の開催を行う。	八千代市(P11) 水戸地方気象台(P12) 銚子地方気象台(P13)
14	・小中学校における水防災教育等の促進、あわせて必要に応じ教員に対する講習会も実施する。	取手市(P14) 茨城県(P15) 利根川下流河川事務所及び関係自治体(P35)
15	・避難誘導時の役割分担等の体制や避難誘導に係る標識の充実を図る。	
16	・日常から水災害意識の向上を図り、迅速な避難を実現するため、まるごとまちごとHMの検討・整備や表示板等の整備推進を図る。	龍ヶ崎市(P16)
17	・要配慮者施設における避難計画の策定を推進していく。(水防法第15条の3)	
18	・要配慮者施設における避難計画に基づく訓練を実施していく。(水防法第15条の3)	
19	・沿川市町: 住民一人一人の避難計画(「マイ・タイムライン」や「個別避難計画」)の策定推進及び訓練を実施していく。	茨城県(P17)
20	・避難所の開設に伴う、新型コロナウイルス等の感染症等に対する避難所の対応についての検討・整備を行う。	八千代市(P18) 香取市(P19)
21	・鉄道事業者については、大規模な気象災害が予想される場合による計画運休の時期等を検討し、情報共有を図る。	

(2) 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組		取組市町
22	・水防に関する広報を推進していく。	八千代市(P20) 船橋市(P21) 水戸地方気象台(P22)
23	・水防(防災)訓練を実施する。	龍ヶ崎市(P23,P24) 神栖市(P25) 銚子市(P26) 成田市(P27) 柏市(P28) 八千代市(P29) 水戸地方気象台(P30)
24	・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練を実施する。	
25	・隣接市町合同による水防訓練の取組を推進していく。	柏市(P31)
26	・広域的な水防支援体制を推進していく。	水戸・銚子地方気象台 (P32 、 P33)
27	・広域化、長期化する水防活動も視野に入れ、巡視区間・頻度・内容の明確化を図る。	
28	・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進していく。	八千代市(P34)
29	・沿川市町: 毎年、水防団や地域住民が参加し洪水特性を考慮した水害リスクの高い箇所の共同点検を実施する。	
30	・沿川市町外: 水害リスクの高い地域への訓練実施の呼びかけや防災啓発の場で住民等へ周知を図る。	
31	・地域の建設者による水防支援体制の検討・構築を図る。	
32	・洪水や氾濫の特性も考慮した内容の氾濫を想定し、BCPと連携した対応マニュアルの作成を行う。	
33	・洪水や氾濫の特性も考慮した内容の氾濫を想定した対応マニュアルの作成を実施する。	
34	・大規模工場等への浸水リスクと水害対策等の周知活動を実施する。	
35	・自助としての自衛水防(水防活動)の重要性を説明会等により市民へ周知する。	
(3) 一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組		取組市町
36	・河口に近い特性も考慮した氾濫水を迅速に排水するための、排水施設情報の共有・排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)を作成する。	
37	・排水計画に基づき、氾濫した場合を想定した排水訓練を実施する。(内水氾濫も含む)	

●ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■沿川市町：想定最大規模降雨における洪水を対象に避難指示等の発令基準の見直しについて検討し、情報共有を図る。

令和7年度の実施状況

国管理河川について、想定最大規模降雨における洪水を対象とした避難指示の発令基準の見直しを定期的に行い、自治体の地域防災計画を作成している。直近では昨年度見直しを行っている。

ホームページ

八千代市地域防災計画（令和7年2月修正）

<https://www.city.yachiyo.lg.jp/soshiki/11/2153.html>

八千代市地域防災計画

【風水害編】

令和7年2月

八千代市防災会議

●ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■沿川市町以外：洪水浸水想定区域に基づく避難の発令対象区間を設定、また、必要に応じて避難の発令基準の修正を行う。

令和7年度 of 取組状況

国管理河川について、洪水浸水想定区域に基づく避難の発令対象区間の設定や、必要に応じて避難の発令基準について定期的に修正を行い、自治体の地域防災計画を作成している。
直近では昨年度見直しを行っている。

ホームページ

八千代市地域防災計画（令和7年2月修正）

<https://www.city.yachiyo.lg.jp/soshiki/11/2153.html>

八千代市地域防災計画

【風水害編】

令和7年2月

八千代市防災会議

- ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
 - 広域避難訓練を実施し、住民への周知を図る。

令和7年度の取組状況

6月15日(日)に、牛久市様のご協力のもと、牛久市への広域避難訓練を実施しました。この訓練には、各地区の区長や利根町防災士連絡会の方々が参加をし、各地区に指定されている牛久市内の広域避難先となる5箇所の避難所をバスの車内から確認を行いました。

5箇所の避難所の中にも含まれる「牛久南中学校」では、実際に避難所施設内を見学を行い、牛久市役所防災課職員の方から、施設の設備や受け入れの説明を受け、移動のバス車内では、行きの道中に広域避難の概要や避難の必要性についての説明を行い、帰りの道中では、自助の第一歩である「マイ・タイムライン」の作成に関する講習会を実施し、参加者は各々の避難行動について考えていただきました。



●ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

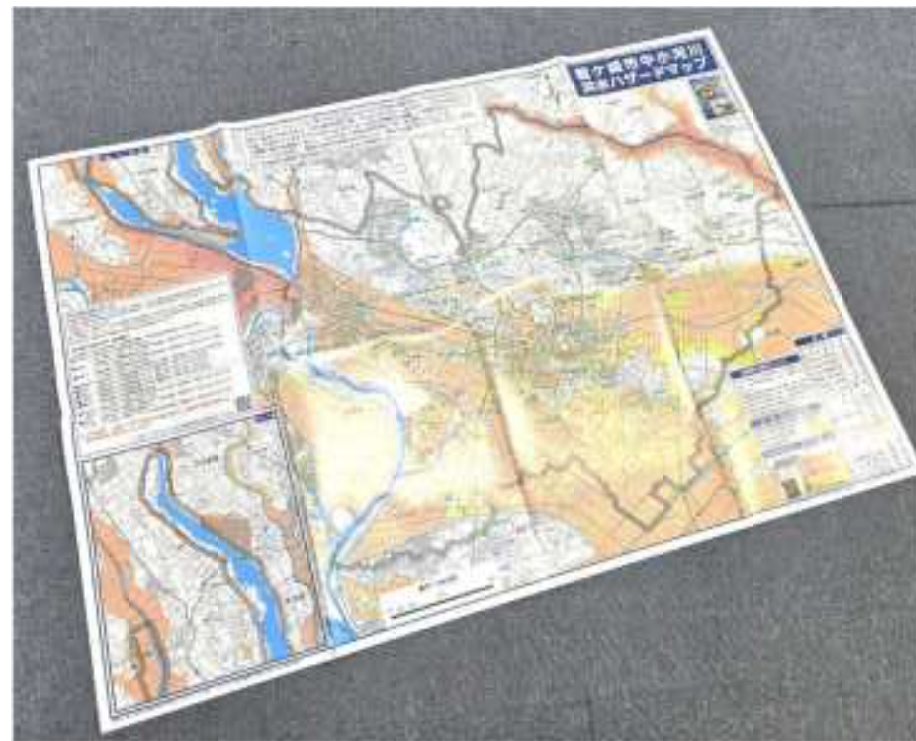
■想定最大外力を反映した洪水HMの策定を実施する。(水防法第15条の11)

令和7年度の取組状況

○「龍ヶ崎市中小河川ハザードマップ」の策定

龍ヶ崎市を流れる中小河川(茨城県河川:11河川)の洪水により、浸水の被害が予想される「洪水浸水想定区域」や土砂災害が発生した場合に、住民の生命または身体に危害が生ずる恐れがあると認められる「土砂災害警戒区域等」に避難所をはじめとした「避難に関する情報」を示し、水防法第15条第3項の規定に基づき掲載したものです。

▶折りたたむとA4サイズ



●ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■想定最大外力を反映した洪水HMの策定を実施する。(水防法第15条の11)

令和7年度の取組状況

茨城県による県管理河川洪水浸水想定区域の指定に伴い、稲敷市の洪水浸水ハザードマップを改定しました。

市内で発生し得る地震・風水害・土砂災害等による災害リスクを総合的に確認いただけるよう、各種ハザードマップ(洪水浸水・土砂災害・ゆれやすさ)や防災に関する情報をまとめ、B4サイズ冊子型の総合防災マップを作成し、市内にお住まいのご家庭へポスティングによる全戸配布を実施しました。

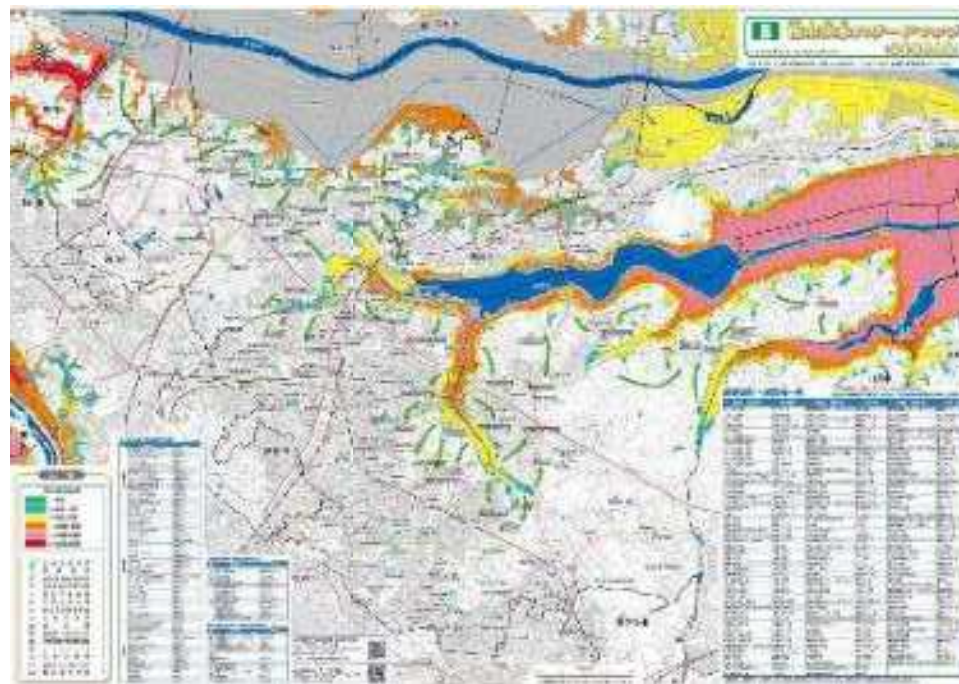


●ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■想定最大外力を反映した洪水HMの策定を実施する。(水防法第15条の11)

令和7年度の取組状況

大雨により洪水が発生した際に浸水が予想される区域を反映した柏市洪水ハザードマップの令和8年度版を作成した。

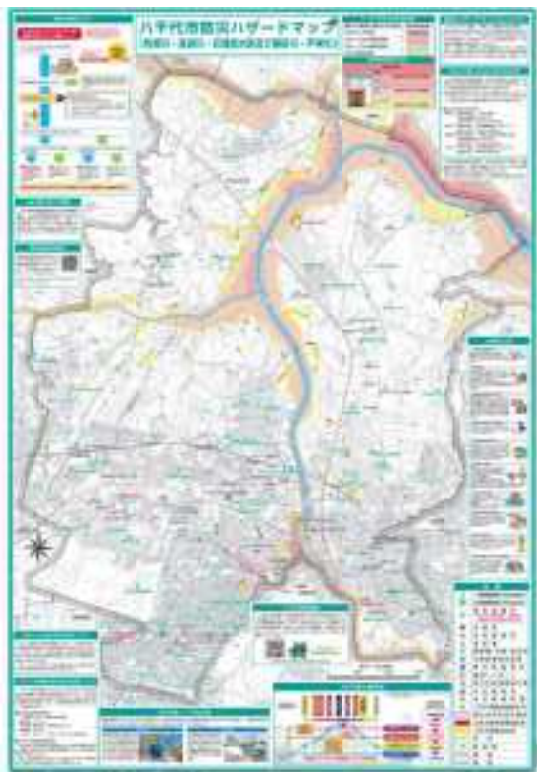


●ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■想定最大外力を反映した洪水HMの策定を実施する。(水防法第15条の11)

令和7年度の取組状況

防災ハザードマップ(紙版、Web版)を作成しており、Web版は自治体ホームページの地図画面ページで詳細が把握できるようにしている。



紙版防災ハザードマップ

ホームページ

Web版防災ハザードマップリンク

<https://www.city.yachiyo.lg.jp/bosai/hazardmap/>

●ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■想定最大外力を反映した洪水HMの配布及び内容の説明等により周知する。(水防法第15条の11)

令和7年度の取組状況

令和7年3月に「利根町防災ガイドブック」及び付属のハザードマップを更新し、町内の全戸へ配布しました。ガイドブックには、水害への備えや土砂災害の情報、指定避難所等の見直し、災害時の情報取得手段など、災害の備えや、災害時の行動をわかりやすく説明しています。

付属のハザードマップは、色味の調整を行い、更に見やすく。従来の利根川、小貝川、霞ヶ浦に加え、新利根川・谷田川(牛久沼)版の追加を行っております。

また新たに、防災ガイドブックとハザードマップにはUni-Voice機能を一部追加し、視覚障がい者や高齢者の方でも災害時の有効な情報を、音声読み上げとテキスト表示で幅広く活用していただけることを目的として作成しました。

防災ガイドブックの作成



※専用のアプリから読み取りが必要です。

Uni-Voice読み上げ画面



●ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■想定最大外力を反映した洪水HMの配布及び内容の説明等により周知する。(水防法第15条の11)

令和7年度の取組状況

市民向けの防災講話をする際、防災ハザードマップの紙版を配布したり、Web版を自治体ホームページで確認できることを周知している。

**防災ハザードマップを
見てみよう**

災害がおきたらどこにひなんすればいいのかな…
家の近くは安全かな…など
不安に思うことはありませんか？
市の危機管理課の職員を講師に
防災ハザードマップについて
学んでみましょう

日時：**8月27日(水)**
10:00~11:30

対象：市内在住の小学生以上の親子 10組
場所：緑が丘図書館 1階 学習室
募集開始：8月15日(金)9:00から電話または
児童室カウンターにて

八千代市立緑が丘図書館 ☎047-489-4946
指定管理者：オーエンス・TRCグループ



令和7年10月実施
防災啓発活動の様子

●ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■円滑な避難行動を実施するため、市町、自治会、自主防災組織、住民の取るべき行動について、段階的な訓練を実施する。

令和7年度の取組状況

広域避難を想定した訓練を実施

6月22日(日)、町内の浸水想定区域内に居住する住民に対し、災害時の避難情報に基づいて迅速に避難できるように、避難・自助力向上を目的とした町民参加による避難訓練を行いました。この訓練は、中央公民館を広域避難所に想定し、職員による物資搬送訓練や自主防災組織の避難所設営訓練に加え、防災士連絡会はハザードマップの説明、マイタイムラインの作成指導、女性消防団は防災備品の啓発活動を行いました。



●ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■水防災に関する説明会や、住民の方々を対象としたシンポジウム等の開催を行う。

令和7年度の取組状況

住民向けの防災啓発活動を定期的に実施している。



令和7年10月実施
防災啓発活動の様子



令和7年12月実施
防災啓発活動の様子

●ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■水防災に関する説明会や、住民の方々を対象としたシンポジウム等の開催を行う。

令和7年度の取組状況

防災気象連絡会を開催したほか、茨城県が実施する「茨城県災害対応勉強会」に参画し、茨城県、茨城県市長会、茨城県町村長会、水戸地方気象台の共催により「災害対応講習会」を実施した。その他、出前講座、市町村が主催する避難訓練における講話、研修会等の機会を通じて防災気象情報について説明した。

- ・ 5月10日 令和7年度茨城県・小美玉市避難力強化訓練（講話）
- ・ 5月16日 災害対応講習会（茨城県及び茨城県市長会・町村長会との共催）
- ・ 6月13日 日立港安全対策協議会総会（講演）
- ・ 6月27日 茨城防災気象連絡会
- ・ 6月29日 令和7年度水害から命を守るための避難訓練（かすみがうら市）
（講話）
- ・ 7月03日 久慈川・那珂川洪水予報業務に関する説明会（常陸河川国道事務所との共催）
- ・ 7月17日、2月6日 自主防災組織リーダー研修会（茨城県との共催）
- ・ 7月06日 令和7年度鹿嶋市総合防災訓練（講話・ブース出展）
- ・ 7月24日 鹿島港災害対策協議会台風等対策専門部会（講演）
- ・ 8月30日 つくば市地域防災リーダーミーティング（講話）
- ・ 8月30日 日立市防災士養成講座
- ・ 8月30日 令和7年度ひたちなか市総合防災訓練（講話・ブース出展）
- ・ 7月12日、11月23日 いばらき防災大学（講演・気象庁ワークショップ）

令和8年

- ・ 2月21日 境町防災士養成研修
- ・ 2月26日 坂東市防災パトロール員研修
- ・ 2月28日 太子町防災士研修

※この他、出前講座を実施



茨城防災気象連絡会



かすみがうら市防災訓練での講話

●ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■水防災に関する説明会や、住民の方々を対象としたシンポジウム等の開催を行う。

令和7年度の取組状況

◎気象情報に関する講演を実施

概要

「2025年夏の天候について」と題して令和7年度利根川下流部利水者懇談会において講演を実施。

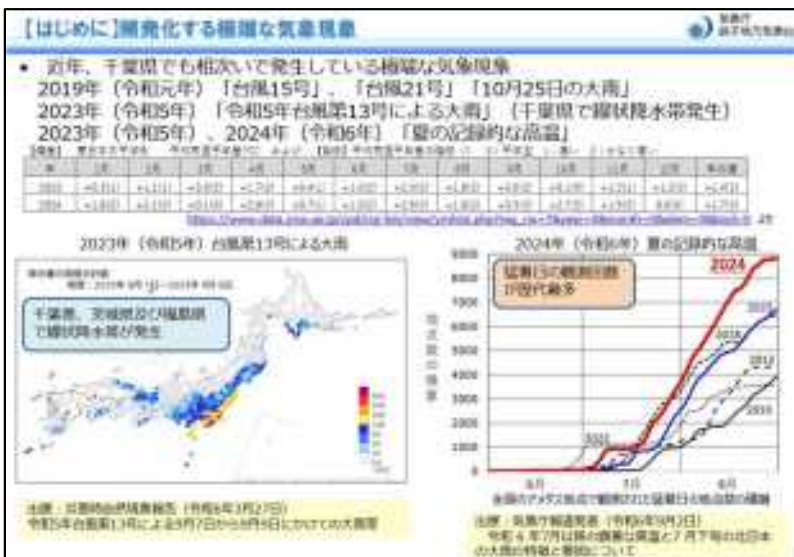
詳細

日時：2025年5月23日14時

場所：利根川下流河川事務所

実施形式：対面 + web（合計で約30名参加）

内容：近年の夏において、台風や線状降水帯による極端な気象現象が頻発している状況を紹介し、注意喚起した。また、今夏の天候の見通しとその要因を解説した。



●ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■小中学校における水防災教育等の促進、あわせて必要に応じ教員に対する講習会も実施する。

令和7年度の取組状況

- 市内小学校で毎年実施し、災害時の避難行動について理解を深めるため
- マイタイムライン作成講座を実施した。(令和2年度より継続実施)

【目的】

- ・地域と継続的な地域連携の防災訓練を実施することで
- ・地域と学校の繋がりを強化する。
- ・防災に関する体験活動を通じ、児童の危機管理能力を
- ・高める。

【参加者】

小学校児童、学校職員、取手市役所

【内容】

- ・マイ・タイムライン作成講座



●ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■小中学校における水防災教育等の促進、あわせて必要に応じ教員に対する講習会も実施する。

令和7年度の実績

- 水害時の逃げ遅れによる人的被害ゼロに向け、住民が適切な避難行動を取れるようにするため、「マイ・タイムライン」の普及に努めている。
- 特に、県では国や市町村等と連携し、洪水ハザード内にある全小学校において「マイ・タイムライン」の作成授業を実施しており、災害の怖さや自分の命は自分で守る“自助”の大切さを認識してもらうなど、防災教育に取り組んでいる。
- 令和7年度実績：全96校のうち62校について県で講師派遣（※）

※その他は国や市町村等で実施



マイ・タイムライン作成授業の様子

●ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■日常から水災害意識の向上を図り、迅速な避難を実現するため、まるごとまちごとHMの検討・整備や表示板等の整備推進を図る。

令和7年度の取組状況

○想定浸水深表示板の設置（令和7年度：令和8年2月末設置）

市内を流れる利根川や小貝川が氾濫した際に、浸水が想定される地区に対して、想定浸水深を表示した表示板を東京電力パワーグリッド(株)の管理電柱へ掲示することにより、浸水想定地域住民の方々や表示板を確認された市内外在住の方々へ災害時はもとより、平常時における水害に対する意識を高めてもらうことを目的とします。

地区名	設置箇所数 (利根川用・小貝川用)	小貝川・利根川等洪水避難計画 【利根川】の避難地域
馴染地区	22	第3次避難地域
川原代地区	15	第2次避難地域
北文間地区	15	第1次避難地域
龍ヶ崎地区	14	第2次避難地域
龍ヶ崎西地区	14	第2次避難地域
大宮地区	15	第1次避難地域
長戸地区	3	第3次避難地域
城ノ内地区	2	第3次避難地域
計	100	



▲想定浸水深表示板設置済みの電柱

●ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■沿川市町:住民一人一人の避難計画(「マイ・タイムライン」や「個別避難計画」)の策定推進及び訓練を実施していく。

令和7年度の取組状況

◆災害発生時において住民が適時適切な避難行動を取ることが出来るよう、小美玉市と連携して、洪水ハザード内の全ての住民を対象とした避難力強化訓練を5月に実施。

<主な訓練内容>

- ・マイ・タイムラインに基づく住民避難訓練
- ・避難行動要支援者の避難支援訓練
- ・能登半島地震を踏まえた避難所の開設・運営訓練

※重点項目として、トイレ環境の整備、ベッド・パーテーションの確保、女性に配慮した取組(性被害防止ポスターの掲示、トイレに防犯ブザーの設置)などを実施



災害対策本部設置訓練



快適トイレの設置



パーテーションの設置



性被害防止ポスターの掲示

避難力強化訓練の様子

●ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難所の開設に伴う、新型コロナウイルス等の感染症等に対する避難所の対応についての検討・整備を行う。

令和7年度 of 取組状況

新型コロナウイルス感染症対策として、避難所にアルコール消毒液、ニトリルグローブの他、プライベートスペース確保の目的としてテント、パーテーション、簡易ベッドを整備している。



●ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難所の開設に伴う、新型コロナウイルス等の感染症等に対する避難所の対応についての検討・整備を行う。

令和7年度 of 取組状況

指定避難所において、避難所担当職員25名が、避難所開設訓練を実施した。
要配慮者スペースの設置を行い、発熱者等の避難者の受け入れのシミュレーションを行った。

訓練日：令和7年11月27日（木）



●ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減, 避難時間の確保のための水防活動の取組

■水防に関する広報を推進していく。

令和7年度 of 取組状況

風水害における浸水履歴(床上浸水、床下浸水、道路冠水)を自治体ホームページに掲載しており、情報が更新された際は、随時情報を更新している。

ホームページ

八千代市浸水履歴

<https://www.city.yachiyo.lg.jp/soshiki/11/2173.html>

●ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減, 避難時間の確保のための水防活動の取組

■水防に関する広報を推進していく。

令和7年度の取組状況



↑ステッカーデザイン



実施機関

日本郵便株式会社
※包括連携協定先

経緯・背景

本市では令和6年2月にハザードマップをデジタル化し、より市民が必要な情報を得やすいハザードマップとなった。
周知拡大の一環として、市からの提案により包括連携協定先の日本郵便株式会社協力のもと郵便ポストへのステッカー貼付を行った。

取組概要

- ・左図のような情報取得用ステッカーを作成し、市内330個のポストに貼付した。(貼付作業は市職員で担当)
- *ステッカー記載内容
- ・ハザードマップ：Web船橋市ハザードマップへリンク
- ・防災ブックレット：災害が起きたときの対処方法をまとめた「防災ブックレット」の紹介ページへリンク
- ・ふなばし情報メール：災害情報等の情報メールの登録画面へリンク
- ・市公式X

●ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減, 避難時間の確保のための水防活動の取組

■水防に関する広報を推進していく。

令和7年度 of 取組状況

気象台が開催するお天気フェアや他の機関が開催し気象台が参加したイベントの場で、防災気象情報について普及・啓発を行った。

- ・ 5月03日 水戸まちなかフェスティバル (ブース出展)
- ・ 6月08日 環境フェスティバル那珂2025 (ブース出展)
- ・ 6月28日 エコフェスひたち (ブース出展)
- ・ 9月28日 常総水害から10年 防災イベント (ブース出展)
- ・ 10月04日 お天気フェア2025 (共催: 常陸河川国道事務所、下館河川事務所、一般社団法人 日本気象予報士会)
(協力: 茨城県 (防災・危機管理課)、日立市天気相談所、一般財団法人 日本気象協会、地球ウォッチャーズ -気象友の会-)
- ・ 11月1日 地磁気観測所一般公開 (ブース出展)
- ・ 11月8日、9日 防災ファミリーフェス2025 (ブース出展)

令和8年

- ・ 3月1日 ひたちなか防災DAYS (ブース出展)



水戸まちなかフェスティバル



お天気フェア2025



地磁気観測所一般公開

●ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減, 避難時間の確保のための水防活動の取組

■水防(防災)訓練を実施する。

令和7年度の取組状況

○「龍ヶ崎市総合防災訓練2025 IN 馴染地区」で水害対応力を強化

水害時に大部分が浸水することが想定されている、馴染地区の地区防災計画に基づいた訓練です。馴染地区の住民が、隣接する地区の台地(高台)にある松葉小学校に避難する「住民避難訓練」を行った後、避難先となる松葉小学校では、松葉小学校区協議会、松葉・長山地区の防災士が受け入れ側となり、馴染地区の避難者に避難所生活を体験してもらう「避難所生活体験訓練」を展開しました。会場では、降雨体験車による降雨体験・土のう作成体験など、来場者に向けた多様な訓練・体験コーナーを展開しました。

【日時】 令和7年11月1日(土) 午後1時から午後4時30分まで

【会場】 龍ヶ崎市役所附属棟1階会議室、小貝川堤防、龍ヶ崎市立松葉小学校

- ①住民避難訓練(各自宅～松葉小学校)
- ②災害対策本部設置訓練・情報伝達訓練(会場:市役所附属棟)
- ③現地災害対応訓練(会場:小貝川堤防・松葉小学校)
- ④避難所生活体験訓練(会場:松葉小学校)
- ⑤災害ボランティア受付訓練(会場:松葉小学校)
- ⑥各種防災資機材・水防資機材展開訓練(会場:松葉小学校)
- ⑦消防署高度救助隊による救助訓練(会場:松葉小学校)

広報用ポスター



避難所生活体験(資機材展開)訓練



●ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減, 避難時間の確保のための水防活動の取組

■水防(防災)訓練を実施する。

令和7年度 of 取組状況 ○浸水想定区域対象「洪水からの避難訓練」

【日時】 令和7年7月29日(火) 午後1時から午後4時30分まで

【会場】 ニューライフアリーナ龍ヶ崎(たつのこアリーナ)

浸水想定区域内の自主防災組織の方や、市内在住の防災士を中心に参加を呼びかけ、当日は約50名もの市民が参加しました。参加者は、市の防災アプリ・メール配信で「台風による大雨で、警戒レベル4【避難指示】が発令された」という情報(※訓練)を確認し、会場へ向かいました。参集後の講話では、市職員が災害時の職員体制や訓練の内容等について説明。訓練のメインである「避難所体験」では、参加者の方に市の支給物資の現状を知ってもらい、避難所で過ごす環境を少しでも良くするために、自宅からどのような物を持ち込むと良いのかを考えていただきました。



避難行動要支援者の避難支援訓練



避難所受付訓練



段ボールベット組立て訓練

●ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減, 避難時間の確保のための水防活動の取組

■令和7年度神栖市総合防災訓練(洪水)を実施し、洪水被害の軽減及び、防災意識の向上を目的とする。

令和7年度の取組状況

【概要】

日 時：令和7年7月12日(土)

対象学区：波崎第二・波崎第四中学校区

訓練概要：台風接近による、河川の氾濫を想定し、対象中学校区に避難情報を発令
災害対策本部設置運営訓練や避難所開設訓練等を実施

その他：関係(協力)機関によるブースや車両展示

関係機関団体：消防、警察、自衛隊、利根川下流河川事務所
霞ヶ浦河川事務所、民間企業 他



利根川下流河川事務所協力による
降雨体験車の展示



パーティション内容等の展示

●ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減, 避難時間の確保のための水防活動の取組

■水防(防災)訓練を実施する。

令和7年度の取組状況

- 水害時等において、公共土木施設の機能確保のため、円滑な水防活動が行えるよう訓練し、必要時において迅速かつ的確に対応することを目的として実施。
- 令和7年度は、県、県建設協会銚子支部、防災士と合同で水防訓練を実施した。



●ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減, 避難時間の確保のための水防活動の取組

■水防(防災)訓練を実施する。

令和7年度の取組状況

出水期を迎えるにあたり、「令和3年8月の大雨」による西日本での被害を教訓として、水防団の安全管理に留意した風水害発生時の活動要領及び当市に関係する重要水防箇所において想定される水防工法の習得を中心に、水防体制の強化を図ることを目的とし、実践的な訓練を実施した。

日 時: 令和7年6月14日(土)8:30~12:00

場 所: 成田市押畑地先(根木名川親水公園予定地)

参加人員: 水防団長以下197名、水防工法指導員40名 計237名

訓練内容: 実践的な訓練とすべく河川堤防上にて、警戒巡視要領、準備工法として土のう作り、水防工法として積み土のう工法、月の輪工法、縄結び作業を実施した。



●ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減, 避難時間の確保のための水防活動の取組

■水防(防災)訓練を実施する。

令和7年度の取組状況

令和7年度第62回柏市・我孫子市共催水防演習

		人 数
参 加 人 員		350人
演習統監部	我孫子市	13人
	柏 市	14人
演習本部	我孫子市	6人
	柏 市	21人
演習参加指導員	我孫子市	21人
	柏 市	23人
演習参加消防団員	我孫子市	65人
	柏 市	68人
来賓(国・県・市議関係)		22人
来賓(その他)		29人
一般観覧者		25人
事務局 (応援職員含む)	我孫子市	17人
	柏 市	26人



●ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減, 避難時間の確保のための水防活動の取組

■水防(防災)訓練を実施する。

令和7年度の取組状況

11月に市主催の防災訓練を実施した。



防災啓発パネル展示の様子

A colorful poster for the '八千代市 総合防災訓練' (Yachiyo City Comprehensive Disaster Training). The poster features a yellow background with a green and red striped top border. It includes a collage of photos showing various disaster training activities. Key information includes the date '11/16 日' (November 16, Sunday) and time '9:30~12:00'. The venue is '八千代総合運動公園 多目的広場' (Yachiyo General Sports Park, Multi-Purpose Plaza). The poster also lists activities such as '消防・防災・避難' (Fire, Disaster, Evacuation) and '防災・啓発' (Disaster Prevention, Awareness). A cartoon mascot character is at the bottom right. At the bottom, it provides contact information: '主催 八千代市 連絡先 危機管理課 047-483-1151(代表)' and a QR code.

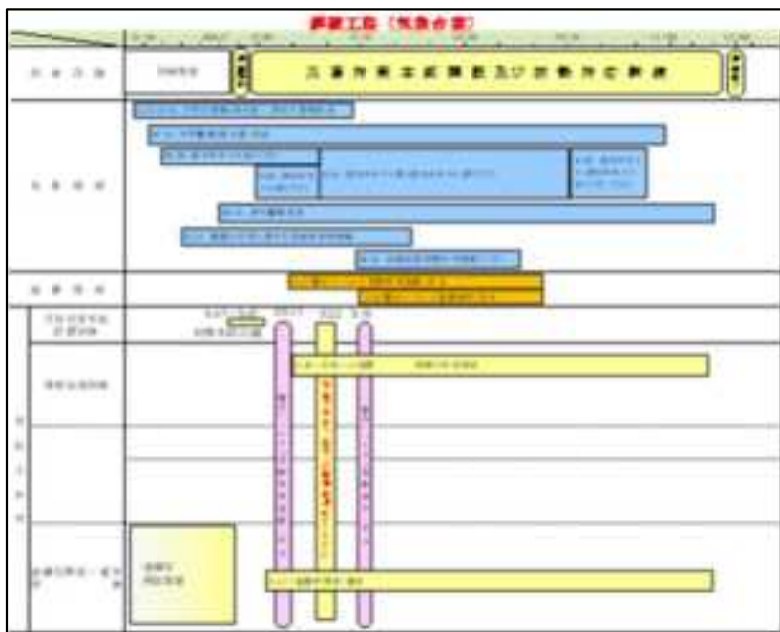
●ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減, 避難時間の確保のための水防活動の取組

■水防(防災)訓練を実施する。

令和7年度の取組状況

市町村が行う各種訓練への参画し、シナリオ作成時の協力、訓練内でのホットラインの実施、訓練後の講演等を実施した。

- 5月10日 令和7年度茨城県・小美玉市避難力強化訓練
- 5月20日 茨城県風水害対応図上訓練
- 6月23日 桜川市災害対策本部運営訓練
- 6月28日 つくばみらい市防災訓練
- 7月26日 令和7年度洪水・土砂災害対応訓練（常陸太田市）



災害対策本部訓練等のシナリオ



気象台長から市長への模擬ホットライン

- ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減, 避難時間の確保のための水防活動の取組
 - 隣接市町合同による水防訓練の取組を推進していく。

令和7年度の取組状況

令和7年度第62回 柏市・我孫子市共催水防演習

柏市・我孫子市の共催により, 出水期にあわせて, 水防要員の士気や能力の向上を図るとともに, 両市が連携して水防体制の充実に努め, 災害の軽減を目的として毎年度実施している。



●ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減, 避難時間の確保のための水防活動の取組

■広域的な水防支援体制を推進していく。

令和7年度の取組状況

気象庁全体の防災気象情報の改善のとりくみとして、令和8年度から新たな防災気象情報の運用を計画しており、令和7年度には運用開始に向け自治体や報道機関への説明会を実施するなど準備を行った。

- 河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮に関する情報等は、対象災害ごとに5段階の警戒レベルにあわせて発表する情報として整理
- 運用開始に向け、自治体や報道機関等の防災機関に改善について説明を行い、新たな防災気象情報についての理解を促進
- 防災気象情報の受け手となる住民への普及に向け、各機関へ広報活動の協力等依頼

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 <small>1級河川などの 大河川の氾濫</small>	大雨 <small>各地の浸水や 大河川以外の氾濫</small>	土砂災害 <small>急傾斜地の崩れや 土石流</small>	高潮 <small>海水面上昇や 波の打ち上げによる浸水</small>	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別監視	レベル5 大雨特別監視	レベル5 土砂災害特別監視	レベル5 高潮特別監視	命の危険 直ちに安全確保!
<警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難! >					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険監視	レベル4 大雨危険監視	レベル4 土砂災害危険監視	レベル4 高潮危険監視	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫監視	レベル3 大雨監視	レベル3 土砂災害監視	レベル3 高潮監視	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

- ・ 対象災害ごとの情報として整理するとともに、レベル4相当の情報として危険警報を新設
- ・ 情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表(例:レベル4大雨危険警報等)

新たな防災気象情報の詳細については気象庁ホームページ等参照願います。

URL: <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/bosai/keiho-update2026/index.html>



●ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減, 避難時間の確保のための水防活動の取組

■水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進していく。

令和7年度の取組状況

消防団の募集をホームページに掲載している。また、ポスターを公共の場所等に貼り出している。

ホームページ

消防団員募集中！

<https://www.city.yachiyo.lg.jp/soshiki/82/70752.html>

八千代市消防団
新入団員募集中

【入団資格】
八千代市に居住・通勤・通学する18歳以上の方

【各種報酬】
●活動報酬 200円～400円 ●活動手当 1,000円 ●活動費 20,000円～

【お問い合わせ】
八千代市消防本部 消防総務課 消防団係
TEL 047-402-7902

●ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のため取組

■小中学校における水防災教育等の促進、あわせて必要に応じ教員に対する講習会も実施する。

令和7年度の取組状況

- 令和7年度は出前講座を12校、教材提供を1校、実施した。
- 授業内では、「防災アニマル診断」で自身の防災意識を楽しみながら診断した後、ハザードマップ等で自宅がある地区がどの程度危険な場所にあるかを確認しました。授業を通して「マイ・タイムラインノート」を活用して水害時の備えを考え、「防災アニマル診断」を再度実施することで授業の理解度を確認した。

【出前講座実施校】

・利根町立利根小学校	4年生:73名(2クラス合同実施)
・成田市立下総みどり学園	4年生:43名(2クラス)
・成田市立豊住小学校	4年生:10名(1クラス)
・潮来市立牛堀小学校	4年生:27名(1クラス)
・潮来市立日の出小学校	6年生:40名(2クラス合同実施)
・印西市立大森小学校	5年生:27名(1クラス)
・取手市立白山小学校	5年生:57名(2クラス)
・取手市立藤代小学校	4年生:50名(2クラス)
・取手市立取手小学校	4年生:49名(2クラス合同実施)
・銚子市立椎柴小学校	4年生:7名、5年生:3名 6年生:6名(各学年1クラス)
・東庄立東庄小学校	4年生:81名(3クラス合同実施)
・龍ヶ崎市立城西中学校	1年生:91名(3クラス合同実施)
合計	564名

【教材提供校】

- ・印西市立本埜小学校

■使用教材



防災アニマル診断

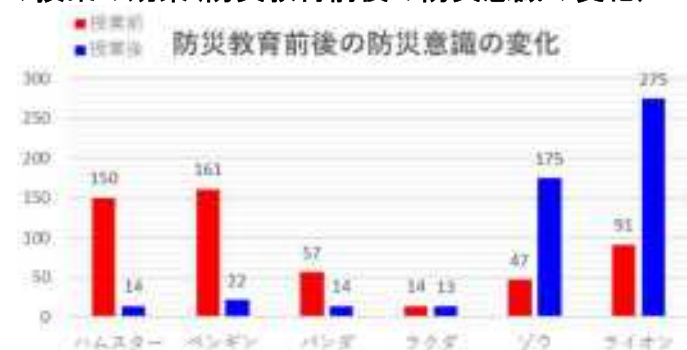


マイ・タイムラインノート



児童用配布資料

■児童全体の授業の効果(防災教育前後の防災意識の変化)



水害の知識や自宅の危険性を十分に認識していなかった「ハムスタータイプ」「ペンギンタイプ」が大幅に減少し、「ゾウタイプ」「ライオンタイプ」の増加により、全体として防災意識レベルが向上しました。

出前講座の事例（利根町）

- 「防災アニマル診断」で自身の防災意識を楽しみながら診断した後、洪水ハザードマップを通して、自宅がどの程度危険な場所にあるかを確認しました。授業を通して「マイ・タイムラインノート」を活用して水害時の備えを考え、防災アニマル診断を再度実施することで授業の理解度を確認しました。

<開催概要>

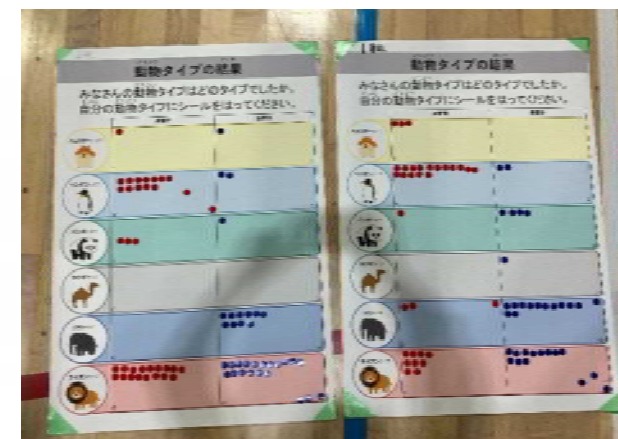
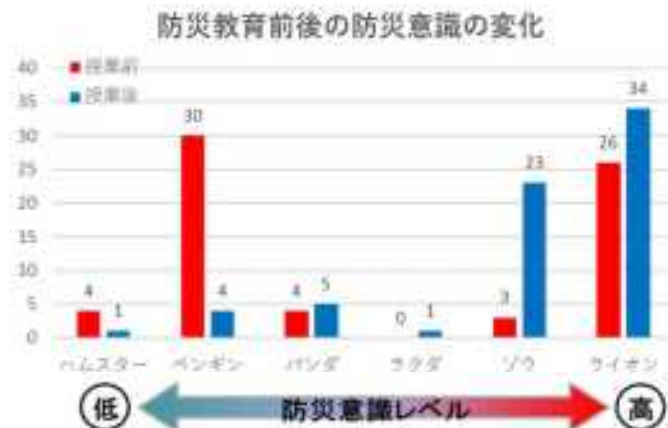
日時:2025/9/25(木) 9:30~(45分間)

対象:利根小学校 小学4年生 73名

場所:体育館



■授業の効果



■使用教材



防災アニマル診断



マイ・タイムラインノート



ハザードマップ

授業の前後で防災アニマル診断を実施した結果、水害の知識や自宅の危険性を知らなかった「ハムスタータイプ」「ペンギンタイプ」が大幅に減り、水害への最低限の関心が全員に芽生えました。